

## 学び続ける先生方

令和4年6月1日（水）に「聖籠町学力安定化授業づくり研修会」が行われました。

研修会では、昨年度まで聖籠町教育委員会の管理指導主事としてご尽力いただいていた、現新潟市立南万代小学校校長 平山 誠 様にご講演いただきました。

3年生算数「円と球」の学習において、本来の中心から大きくずれた場所を中心とした、何度挑戦しても「地獄」に当たってしまうルーレットを教材とします。「一方的な結果の生ずる状況を示す」ことで、子どもたちから「真ん中じゃないからずるい!」「どうすれば中心が分かるのかな?」という思いを引き出します。このように、子どもたちが考えたくなる課題を設定する、授業の事前の準備、教材研究こそが教師の頑張りどころだと学びました。

各学校は学習への取組をより充実させている時期を迎えています。コロナ対応が続いておりますが、今回の研修を通して参加された先生方は、「子どもたちの学びを止めない」という意欲に燃えていました。

子どもたちのために、先生方も学び続けます。



<先生方の感想より>

- ・いかに子どもが主となって授業を進めるかが楽しくなる鍵なのかなと感じました。そのためには、その日の授業のゴールが見えること、ゴールに向けてどんな方法があるか考えを深めることが必要だと感じました。
- ・子どもが確かめたいくなるような課題づくりを学級で実現できるように、教材研究、学級づくりに力を入れたいです。